

政策指標の達成状況

項目	指標	プラン策定時の値 (18)	19	20	目標値
「かけがえのない自他の命を大切にすることのできる人間」を育てるために					
地域の活動に参加する児童生徒の増加をめざします。	地域等の活動へ参加した児童生徒の割合	小学校6年生* (92.6%) 中学校3年生 (74.0%)	65.6%	63.0%	100%
いじめのない学校をめざします。	いじめの解消率	(平成17年度) 88.7%	(平成18年度) 94.9%	(平成19年度) 94.8%	100%
不登校児童生徒の復帰率の向上をめざします。	不登校児童生徒の復帰率	(平成17年度) 24.4%	(平成18年度) 25.9%	(平成19年度) 24.8%	50%
子どもたちにとって安全な地域づくりをめざします。	「こども110番の家」の設置数	6.4万か所	65,937か所 (20年3月末現在)	69,193か所 (21年3月末現在)	7万か所
「自らの人生をたくましく切り拓き、社会に生かすことのできる人間」を育てるために					
子どもたちの学習意欲の向上をめざします。	放課後に学習している児童生徒の割合	小学校6年生* (87.7%) 中学校3年生 (76.7%)	95.3%	94.6%	100%
生徒の進路希望や興味・関心に応じた教育をめざします。	多様な科目(50を超える)を開設している県立高等学校の割合	14%	14%	15%	25%
中学校での職場体験活動の充実をめざします。	5日間程度の職場体験を実施する中学校の割合	49.7%	87.2%	99.7%	100%
障害のある子どもの自立をめざします。	特別支援学校高等部卒業生の就職・進学率の割合	52%	52%	48%	60%
外国人の子どもの不就学の把握に努め、解消をめざします。	就学していない外国人の子どもの数	—	外国人の子どもの不就学の実態については正確に把握できていないため、国に対して外国人の子どもの不就学の状況について実態把握できるシステムの確立を要請しています。		(平成27年度) 解消
「健やかな体をつちかい、豊かな文化を継承し創造することのできる人間」を育てるために					
地域でスポーツに親しむことができる環境の充実をめざします。	総合型地域スポーツクラブを設置している市町村の数	20市町	23市町	26市町	(平成24年度) 全市町村
子どもたちの望ましい食習慣の定着をめざします。	朝食を欠食している児童生徒の割合	小学生 2.9% 中学生 6.1% 高校生 8.6%	/	2.0%	0%
		4.5%		3%以下	
		9.3%		5%以下	
文化芸術に親しむ人の増加をめざします。	県文化施設の利用者数及び県が推進する文化諸施策への参加者数の対県人口比率	(平成17年度) 67.2%	(平成18年度) 68.8%	(平成19年度) 69.8%	80%
学校での読書活動の充実をめざします。	全校一斉読書活動をしている学校の割合	(平成17年度) 小学校 96.4% 中学校 88.4%	(平成19年度) 小学校 97.1% 中学校 91.7%	(平成20年度) 小学校 98.8% 中学校 92.7%	100% 100%
「次代を展望し、世界に視野を広げ活動することのできる人間」を育てるために					
学校における情報教育の環境整備の充実をめざします。	コンピュータ1台当たりの児童生徒数	(平成17年度) 高等学校 9.6人/台 特別支援学校 6.2人/台	(平成18年度) 高等学校 8.6人/台 特別支援学校 6.2人/台	(平成19年度) 高等学校 7.4人/台 特別支援学校 3.0人/台	(平成23年度) 高等学校 6.6人/台以下 特別支援学校 2.7人/台以下
	コンピュータを活用して指導できる教員の割合	(平成17年度) 高等学校 44.5% 特別支援学校 55.5%	(平成18年度) 高等学校 39.8% 特別支援学校 55.5%	(平成19年度) 高等学校 50.8% 特別支援学校 58.7%	(平成23年度) 100%
専門高校の生徒の技術・技能の習熟・向上をめざします。	専門高校の生徒のうち技術認定顕彰者数	(平成17年度) 4,950人	(平成19年度) 5,336人	(平成20年度) 5,771人	5,300人

\* プラン策定時の値は、平成17年度に実施された全国調査結果としたが、平成19年度からは、より指標として適切な、全国学力・学習状況調査(文部科学省)結果の値を使用した。